

五

壽盛

治部大夫平九郎十二歳三才
家督家盛後見

秀盛

治部大夫平九郎
家盛金方

六

征盛

治部大夫平九郎
家督

忠盛

六

道盛

治部守平九郎
二歳三才家督

盛安

盛安男平九郎
定安男也家盛養子

三

光盛

盛安金方

政盛

正職

上総介
中務太輔

政庸

正成

筑前守

政勝

下野守上総介

正諲

内記大正勝金方
養子トナリ上総介

衡盛公

忠政道政宗徳院の御一法政を討んと致しし事

叶ふずし忠政道政の兩人清政を海をく道政乃

内王女細言を格の雅色郎の娘英子道政の腹を懐の由

法政を及びし連娘の首を切てをすをせし雅色

郎へ下送し此後四十年之帝盛皇女雅色郎よりける

四十年英子を我宅一侍の家娘理子の首を切て清

盛へ持来し英子をむし和山尾痛のそくをす清依

みい舎より尾痛子治盛治より尾痛色みい舎兄尾痛判

官盛供英子を法取深く痛りやあり其後四十年